

「神に従って愛に生きる」

ヨハネの手紙第1 3章18~24節

1

「聖書をよんでも、いくらよんでも
感激がわかなくなったら、聖書を
生きてみなさいほんのちょっとでも
いいから。」 八木重吉

2

子どもたち。私たちは、ことばや口先だけ
ではなく、行いと真実をもって愛しましょう
そうすることによって、私たちは自分が真
理に属していることを知り、神の御前に心
安らかでいられます。たとえ自分の心が責
めたとしても、安らかでいられます。神は
私たちの心よりも大きな方であり、すべて
をご存じだからです。 1ヨハネ3:18-20

3

愛する者たち。自分の心が責めないなら、私た
ちは神の御前に確信を持つことができます。
そして、求めるものを何でも神からいただくこ
とができます。私たちが神の命令を守り、神に喜
ばれることを行っているからです。私たちが御
子イエス・キリストの名を信じ、キリストが命じら
れたとおりに互いに愛し合うこと、それが神の
命令です。神の命令を守る者は神のうちにとど
まり、神もまた、その人のうちにとどまります。
神が私たちのうちにとどまっておられることは、
神が私たちに与えてくださった御霊によって
分かります。 1ヨハネ3:21-24

4

愛せよという命令に従う

- 神を知っていると言いながら、その命令を守
っていない人は、偽り者であり、その人のうち
に真理はありません。 1ヨハネ2:4
- 光の中にいると言いながら自分の兄弟を憎
んでいる人は、今でもまだ闇の中にいるので
す。 1ヨハネ2:9
- 私たちは、自分が死からいのちに移ったこと
を知っています。兄弟を愛しているからです。
愛さない者は死のうちにとどまっています。
1ヨハネ3:14

5

従順と愛はバイタルサイン

- 私たちは真理によって形成される。自分の好
み考えで真理をや教えを作らない。
- 今の時代は、真理より心理の時代。「ミーの
時代」 みこころより「ミーの心」を優先させる
- 「というのは、人々が健全な教えに耐えられな
くなり、耳に心地よい話を聞こうと、自分の好
みにしたがって自分たちのために教師を寄せ
集め、真理から耳を背け、作り話にそれで行
くような時代になるからです。」 2テモテ4:3-4

6

従順と愛はバイタルサイン

- 自分の心に責められても
- 神が求めておられるのは、信仰、信頼、信行であり、成功、完ぺきではない。
- 光の中を歩む。汚れが目立つ。クリスチャンになってから自分の汚さが分かる。
- 自分の罪を神の前で告白する
- 自分の罪を正当化しない。
- 偽教師たちは、罪を正当化するシステムを作った。

7

神は私たちの心より大きい

- 神よ私を探り私の心を知ってください。私を調べ私の思い煩いを知ってください。私のうちに傷のついた道があるかないかを見て私をとこしえの道に導いてください。139:23-24
- だれが自分の過ちを悟ることができるでしょう。どうか隠れた罪から私を解き放ってください。あなたのしもべを傲慢から守ってください。それらが私を支配しないようにしてください。そのとき私は大きな背きから解き放たれて全き者となるでしょう。私の口のことばと私の心の思いとが御前に受け入れられますように。【主】よわが岩わが贖い主よ。詩19:12-14

8

命令を守ることは一緒に生きること

- 求めるものを何でも神からいただくことができる
- あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます。ヨハネ15:7
- わたしを遣わした方は、わたしとともにおられます。わたしを一人残されることはありません。わたしは、その方が喜ばれることをいつも行うからです。ヨハネ8:29

9

命令を守ることは一緒に生きること

- 私たちが御子イエス・キリストの名を信じ、キリストが命じられたとおりに互いに愛し合うこと、それが神の命令です。1ヨハネ3:23
- イエスは彼に言われた。「あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これが、重要な第一の戒めです。『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。」マタイ22:37-40

10

命令を守ることは一緒に生きること

- ですから、人からしてもらいたいことは何でも、あなたがたも同じように人にしなさい。これが律法と預言者です。マタイ7:12
- 他の人を愛する者は、律法の要求を満たしているのです。「姦淫してはならない。殺してはならない。盗んではならない。隣人のものを欲してはならない」という戒め、またほかのどんな戒めであっても、それらは、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」ということばに要約されるからです。ローマ13:8-9

11

神に従って愛に生きる

- 自分の思い込みでは救われない。
- 「赤信号みんなで渡れば怖くない」は神には通用しない。
- 神の教えを今日の人に合うように、受け入れやすいものにする？という誘惑に注意。
- クリスチャンは、神を信頼するだけでなく、神に信頼されている。神の愛と信頼にふさわしく生きる、ふさわしい者となる
- 神は信頼できる方。私たちも恵みによって神が信頼できる人間になる。

12